

極 楽 ハ ワ イ ス テ イ

五辻節子（横浜）

期間：2007年6月 1カ月間

「またハワイですか」

と言われながら、6月1カ月、またハワイに滞在した。
こうして何度も足がむいてしまうハワイの魅力は何
だろう。改めて列挙すると・・・

- ★ **青い海、青い空**：これは誰でも納得。
- ★ **適度な湿度**：アメリカ本土に行くと、湿度が低い為着いて4～5日たつと、皮膚が乾いて表面に白い粉が出て、ワセリンが必需品となるのだが、ハワイはその心配が全くいらぬ。
- ★ **最適な気温**：部屋にはエアコンは付いているが、使ったことはない。Tシャツ、短パンで過ごせるのも便利だ。
- ★ **爽やかな風**：こんなに車が多いのに、空気が汚れていないのは、いつも吹きぬけている風のせいだろう。ハワイの風は、時々“吹きすぎだよ！”と思うことがあるが、街の汚れも吹き飛ばしてくれるらしい。
- ★ **大きな虹が見える**：雨の後、きれいな虹がよく見られる。時々ダブルでかかった虹を見ると、とてもラッキーな気分になれる。
- ★ **大体どんな食材も手にはいる**：ほとんどが日本と同じ位の値段で手に入る。野菜や果物などは、コミュニティーセンターの朝市を利用すれば、新鮮で安いものがある。贅沢を言わなければ何でもある。
- ★ **おいしい水**：カーテン・レールを取替えに来てくれたおじさんの話によると“ハワイの水は、世界一おいしくて、きれいだよ。なんたって火山の神様ペレの贈り物だからね”。毎日ミネラル・ウォーターを買わなければならない国が多い事を考えると、そのまま水道のおいしい水が飲めるのは、最高だ。
- ★ **日本語だけでも生活できる**：英語も出来れば敵なしだが、日本語だけでも、それ程不便なく生活出来てしまう。ハワイに移民した日本の先達に感謝。
- ★ **バスで移動ができる**：他のハワイ諸島は、車がないとどこに行くのも難しいが、オアフ島は、バスで容易に移動ができ、バスの乗り方も難しくない。
- ★ **シニア割引がいろいろあって便利**：バス、レストラン、ゴルフ場、ショップなど様々な所でシニアに対する配慮がある。歳をとるのも悪くないな、と思ってしまう時さえある。

ハワイは候補地にはなかった

リタイア前に、ロングステイの候補地にハワイがあったわけではなかった。それどころか、ブランドショップが建ち並ぶ、あんな騒々しい所は、ほとんど候補にも上げられていなかった。だが、どの雑誌をみてもロングステイの人気ベスト3の中に、ハワイは必ず顔を出す。一度は行って、確かめてみよう、ということになった。比較的割安で日本人の人気も高いコンドミニアムという事で“ワイキキ・バニアン”が候補に上がった。インターネットで、バニアンを取り扱う業者の中で安い料金設定をしている所を探した。HITEXが安かったので、早速メールして、4月後半から1カ月の予約をいれた。特別なリクエストはしなかったが、出来れば高層階、海が見えて、ウォッシュレットの部屋という希望は伝えておいた。

バニアンに着いて案内された部屋は、最上階ペントハウスで、ページェピンクで上品に統一された素敵な部屋だった。ラナイ（ベランダ）に出てみると、紺碧



バニアンの部屋

の海が広がっていた。HITEXの皆本社長が、ヨット・クラブに連れて行ってってくれ、昼食を食べながら、いろいろ情報を教えてくれた。

帰り際「明日朝、ラジオ体操があるから、6階に来て」と言った。翌朝、こわごわラジオ体操に行ってみると、10人位の日本人が集まっていて、体操が終わると、自己紹介してくれた。ここで顔見知りになった人達が、ゴルフに連れて行ってってくれたり、安くておいしいレストランを紹介してくれたり、お部屋を見せてくれたり、フラダンスのクラスに誘ってくれたりするなどハワイステイをする上で、大きな助けになった。

ラジオ体操に始まり、ワイキキの海辺の散策、テニスをしたり、ゴルフをしたり、昼寝をしたり、本を読んだりして一日が過ぎる。夕闇がせまり、ビール片手にラナイに座っていると、パラパラパラっと山側の灯りがつき始め、まるで大きなクリスマス・ツリーのように輝き始めた。夜になると、海は真っ暗だが、山の灯りが素晴らしい装飾となる。ラナイの両側に大きな鏡が張ってあるので、どちらに座っても、昼間は海、

夜は山の夜景が楽しめた。

こうして、いわゆるワイキキの喧騒から離れて、ペントハウスの極楽生活を送っているうちに、すっかりハワイにはまってしまったのである。

自動車免許をハワイで取る

「ハワイで自動車免許を取ると、グリーンカードはなくても、免許書が ID のかわりになり、ハワイの住民と同じサービスが受けられる。ゴルフ場も住民料金でプレイ出来る。そのうちに法律が変わるから、今がチャンスだ」と言われて、免許を取ってみようと思ったのが、今回のハワイ行きの目的の一つだった。1回で合格するのは難しく、皆2回も、3回も落ちている、との噂もあり、1カ月あれば合格できるだろう、と読んだ。

筆記試験+実技練習と試験コースは\$700、実地練習と試験コースは\$450だ。ハワイの住民は、親か友達に教えてもらい、その人の車で実技試験が受けられれば、\$26しかかからない。私達外国人は、やはり実技試験のポイントも教えてもらわなければならないし、車もないので、筆記試験は自分達でうけ、実技は指導の先生の車を借りて受けることにした。日本語の筆記試験があるのは有難い。実技に入り、“Turn to the right.”と言われ、右レヴァーを下げると、いきなり目の前でワイパーが左右に踊るのにはあわててしまい、慣れるのに暫くかかった。

めでたくきれいな虹が入った免許が手に入り、バニアン裏側のパブリックのアラワイ・ゴルフ場でメンバー・カードを作ってもらった。さてゴルフをしようと思って、“How much?”ときくと”\$19”という。2人なので、50ドル札を出すと、「Mr.は7ドル、Mrsはまだシニアではないので12ドル」だと言う。2人で19ドルというプレイ料の安さに感激！

部屋は、海側 or 山側

「ハワイの部屋は、勿論オーシャン・ビューでしょう」と言う人は多い。私もそう思っていた。ところが、ある日、ラジオ体操で知り合いになった人が部屋に招いてくれた。部屋に入った途端にその広大な景色に圧倒させられてしまった。目の前に緑が美しいアラワイ・ゴルフ場が広がり、その向こうに緑深い山々が広がっていた。その人は「この景色を見た途端、ここしかないと思って、ここを買ったのです」と言っていたが、「ロングステイをする人の中には、山側を希望する人も多いのですよ」というスタッフの言葉にも納得できる。そういえばロングステイの本をいろいろ書いて

いる立道和子さんもバニアンにステイした時、山側の部屋がすっかり気に入って、毎日ラナイで楽しんだ話が載っていた。

6月の私達の部屋は、バニアン・タワーⅡ33階山側の部屋で、前述の人の部屋よりさらに高い階のため、毎日見事な景観を楽しむことが出来た。特に夜は、目の前に特大のクリスマス・ツリーが飾られたようで、それを見ながら、ハワイの山々の気をもらって元気な毎日を送る事ができた。

コミュニティー・センターの朝市を楽しむ

33階の部屋のラナイから、すぐ隣のコミュニティー・センターが見える。毎週火・金曜日の朝7時から朝市がたつ。パパイヤ、マンゴ、パイナップル、バナナなどの果物、ハウレン草、人参、キャベツなどの野菜が売られる。スーパーより安く、新鮮なものが買えるので、結構沢山の人が買いに来る。私達は、7時前にラナイから眺めて、朝市がたったかなと思ったらすぐ買いに行っていた。なにしろ隣なので便利である。

このコミュニティー・センターでは、英会話やヨガ、フラ、太極拳、社交ダンス、レイ作りなど様々なクラスがある。長期のクラスでも1回だけの受講も可能である。1回大体2~3ドル位の料金なので、手軽に利用できるためロングステイの日本人も結構利用している。



ポットラック・パーティーも交流の場

この他に、バニアンから歩いてゆけるカピオラニ公園で、毎週土曜日に朝市が開かれる。ここでは、野菜、果物の他に、魚なども売られている。“日本のきゅうり”だの“日本のなす”だのといったちょっと小ぶりの野菜もある。

行ってらっしゃい

ハワイから日本に帰るシャトルバスに乗り込む時、見送りに来てくれた人達は、「行ってらっしゃい」と言った。それを聞いて、なぜか、またここに戻ってくるのだな、と思ってしまうのは私達だけではないだろう。